

平成 23 年 9 月 5 日
社団法人日本経営士会
会長 佐藤敬夫

「第 2 回 ビジネス・イノベーション・アワード 2011」 選考結果と表彰式のお知らせ

このアワードは、社団法人日本経営士会が創立 60 周年を記念して公益目的事業として創設したものです。経営革新や社会貢献等で顕著な成果をあげた経営者、社会支援者、企業、団体等を表彰して、企業と地域社会の活性化を支援するものです。

第二回目となる今回も、各方面から多くのご応募をいただきました。

この場をお借りして御礼を申し上げます。

応募申請いただいたものを、選考委員会において審査した結果、各賞の受賞企業等が決定されましたので、選考委員会委員長からの報告と併せ、別紙にてご紹介します。

なお、表彰式は 10 月 15 日（土）に鹿児島市において行いますのでお知らせします。

－ 本アワードの概要 －

募集（表彰）の対象範囲

1. 以下に該当する取り組みや活動成果等を対象としました。

- ダイナミックな経営革新に取り組み経営の立て直し又は成長を実現した。
- 女性の視点で企業経営や地域社会に貢献した。
- 独自の人材教育や人的資源を活用して成果につなげた。
- 多様な働き方に配慮したダイバーシティーマネジメントやワークライフバランスを重視した経営に取り組み成果につなげた。
- 農業分野及び農商工連携事業で顕著な成果をあげた。
- 環境保護や少子高齢化対応等で地域社会に貢献した。

2. 本会の今年度の研究テーマ、「100 年続く企業づくりと経営士の役割」にちなみ、継続的な経営革新や独特な経営手法で、長期にわたり顧客や市場から評価を得ている老舗・伝統企業等を対象としました。

3. 上記に準じた取り組みや活動成果を対象としました。

本アワードの特徴

本アワードの特徴は、単に経営革新に取り組んだことや顕著な業績・活動を評価するだけでなく、経営コンサルタント（経営士）の視点で、「理念・手法・ビジネスモデルの創造」など、成功に至った要因を重視するとともに、過去に「賞」や「社会的評価」を受けた企業等が引き続き、たゆまぬ革新に挑戦して成果につなげていることなどを、審査の重要な要素としました。

選考委員会メンバー

選考委員長：野々内 隆	財団法人経済産業調査会理事長・元資源エネルギー庁長官
選考委員：森田 実	政治経済評論家
墳崎 敏之	弁護士・元大蔵省（現財務省）大臣官房審議官
嶋矢 志郎	財団法人地球環境財団理事長・元日本経済新聞社論説副主幹
森谷 宜暉	産業能率大学名誉教授
松島 隆太郎	ゼントグループ代表
武居 久彌	社団法人日本経営士会副会長
高橋 栄一	社団法人日本経営士会副会長

表彰の種類

「大賞」、「優秀賞」、「特別賞」及び「会長特別賞」のほか60周年を記念して「努力賞」を授与します。
※各賞の表彰は、表彰式会場にて行います。

表彰式日程と会場

今年度の表彰式は、本会の60周年を記念して、45年間継続開催している「経営士全国研究会議」と併催にて行います。

日 程：平成 23 年 10 月 15 日（土）13：00 より
会 場：鹿児島市、「城山観光ホテル」（鹿児島市新照院町 41-1）

アワード表彰式&経営士全国研究会議 プログラム概要

日 時	プログラム
10月15日（土）13：00～	開会式、主催者あいさつ、来賓あいさつ、会員表彰
14：15～	「ビジネス・イノベーション・アワード表彰式」
15：45～	基調講演
18：30～	交流懇親会、アトラクション
10月16日（日）9：00～	研究論文発表（3会場）
12：00～	全体会議、優秀論文発表・表彰
12：30	閉会式

※プログラムの時間は若干前後することがありますのでご了承ください。 ※表彰式当日のみの参加、両日の参加、いずれも可能です。

お問い合わせ先

社団法人日本経営士会 「ビジネス・イノベーション・アワード」事務局 松丸 守
〒102-0084 東京都千代田区二番町 12-12 B.D.A. 二番町ビル 5F
TEL：03-3239-0691 FAX：03-3239-1831 Eメール：matsumaru@keieishikai.com
URL：http://www.keieishikai.com

選考委員会
委員長 野々内 隆

選考結果

— 選考審査の結果について —

本年が第二回開催となります「本アワード」には、昨年を上回る応募をいただきました。

選考委員会では、ご応募いただいた中から最終選考に残ったものを対象に各賞の選考審査を行った結果、大賞2件、優秀賞6件、特別賞10件のほか、台湾から応募申請のあった1件を会長特別賞として表彰対象に選定しました。

また、日本経営士会の60周年を記念して、努力賞として10件を表彰対象に選定し、それぞれの取り組み努力に報いることとしました。

今年度の募集に際しては、中小規模企業及びそれに準ずる団体等を対象とし、それ以外は特段の制約を設けず、広く革新的な活動に対して門戸を開放して参りました。

その結果、昨年を上回る応募申請を得ましたことは関係者として大変感謝しております。

本アワードの特徴として、日本経営士会のミッションでもあります「中小企業の経営支援と地域の活性化」を踏まえ、経営コンサルタント（経営士）の視点で「理念・手法・ビジネスモデルの創造」など成功に導いた要因を重視して、選考委員が熟慮を重ねて審査を進めてまいりました。

選考結果については、審査の宿命で順位を付けざるを得ないがための結果であり、各賞間には差ほどの開きがないことをご理解いただければ幸いに存じます。

今回の審査を通じて、経済の閉そく感が漂う状況下でありながら、企業や個人がかくも活発に挑戦や革新に取り組み、また相互に支え合いながら活動していることに感銘を受けました。

あらためて日本人の知的能力の高さと「絆社会」を実感するとともに、産業社会・地域社会の活性化に向けた支援の重要性を再認識しました。

皆様のますますのご繁栄を期待しております。

ビジネス・イノベーション・アワード 2011

第2回の「ビジネス・イノベーション・アワード2011」は、選考委員会による審査を経て「大賞」「優秀賞」「特別賞」「選考委員会特別賞」「努力賞」が以下の通り決定しました。

— 大 賞 —

(2件)

いすみ鉄道株式会社殿

“観光鉄道化”戦略で、地域活性化と鉄道事業の存続に貢献

経営が難しいとされる地方ローカル鉄道にあって、地元の風景に同化したキャラクターの導入やユニークな発想をもとに、地域と連携して観光ビジネスなどの周辺事業を飛躍的に成長させ、また地域住民の生活インフラである鉄道事業の存続に貢献していることを高く評価しました。

(千葉県夷隅郡大多喜町・代表取締役社長 鳥塚 亮氏)

静岡産業大学殿

“県民の大学” “大化け教育” で経営改革と地域貢献を実現

地元の産業界や他の大学との連携など産学官での積極的な交流を行い、職業人・社会のリーダー育成をミッションに掲げて「県民の大学」「大化け教育」を実践し、多くの卒業生を地元産業界に輩出するなど、地域社会への貢献に加え定員充足と高い就職率で健全な大学運営を実現していることを高く評価しました。

(静岡県藤枝市・学長 大坪 檀氏)

— 会長特別賞 —

(1件)

一詮精密工業股份有限公司殿

経営革新でグローバル企業に躍進

経家電部品製造の町工場からスタート。台湾政府の生産性向上政策を受けて、同社経営トップ（周董事長）は日本的経営手法を学び、経営士と連携して経営革新に取り組み、1991年に台湾の十大青年創業模範に選ばれる。その後も日本やドイツから技術を導入、品質と環境でISOの認証取得。LED関連商品で世界トップシェアを獲得して、従業員3000名の上場企業に躍進させたことを高く評価しました。

(台湾台北縣・董事長 周 萬順氏)

— 優秀賞 —

(6件)

音羽電機工業株式会社殿

避雷器の技術革新で業容を拡大、雷対策啓蒙活動で社会に貢献

避雷器や試験装置の技術で群を抜き、国内ジェット機メーカーへの雷耐久試験装置の納入実績や中小企業300社に選定されるなど、その技術力は国の内外が認める。また高度情報化社会における雷リスクの回避について啓蒙活動を行うなど、技術革新に加え社会貢献活動を高く評価しました。

(兵庫県尼崎市・代表取締役社長 吉田 修氏)

NPO 法人 環境ネットワークくまもと殿

“水の恵み”と“太陽の恵み”を生かして地域に貢献

地下水涵養水田で栽培した「エコ米」の提案を通じ、新たなビジネスモデルで地下水資源をブランド化。また「市民共同太陽光発電設置事業」の推進を通じて自然エネルギー創造事業を展開するなど、地域資源（水と太陽の恵み）を活用した持続可能な環境社会の実現への取り組みを高く評価しました。

(熊本県熊本市・代表理事 宮北隆志氏)

協栄産業株式会社殿

高度なプラスチック再生技術によりペットボトルの再生を実現

再縮合重合反応方式を採用したメカニカルリサイクル技術を確立。困難とされていた食品用途への再生原料の展開を可能にし、業界の悲願であった「ボトル to ボトル」を大手飲料メーカーと共同開発するなど、その技術革新への取り組みを高く評価しました。

(栃木県小山市・代表取締役社長 古澤栄一氏)

株式会社ゼロム殿

精密金属プレス加工技術で製品の高度化を実現

微細微小のプレス加工を得意分野とし、金型の自社設計・製作を強みとして、技術イノベーションを理念にマイスターの技で顧客満足を獲得している。匠の技術が認められ「元気なモノづくり中小企業 300社」に選定されるなど、技術革新に対する取り組みを高く評価しました。

(大阪府豊中市・代表取締役社長 松尾秀昭氏)

NPO 法人ぱれっと殿

“すべての人々が当たり前で暮らせる社会の実現”へ貢献

「余暇活動の場・たまり場ぱれっと」「自立をめざす福祉作業所・おかし屋ぱれっと」「障害者・健常者・外国人が融合して最高の味とサービスを提供する店・居酒屋ぱれっと」「障害者と健常者がともに暮らす家・ぱれっとの家」など、今までにない出会いと交流の場を創造し、ボランティア有志と連携して、すべての人々が当たり前で暮らせる社会の実現に貢献していることを高く評価しました。

(東京都渋谷区・理事長 谷口奈保子氏)

株式会社リバイブ殿

資源の有効利用や再生可能エネルギー利用で地域との共生に貢献

産業廃棄物関連事業を通して環境との共生の重要性に気づき、資源の有効利用、再生可能エネルギー利用、ピオトープの形成などを通じて事業所全体を環境との共生の場とし、また休耕農地やハウスを借り受けて障害者の就労の場とするなど、循環型社会の実現に向けた取り組みとエシカルな理念・経営方針による社会貢献活動を高く評価しました。

(愛知県弥富市・代表取締役 平沼辰雄氏)

— 特別賞 —

(10件)

株式会社五勝手屋本舗殿

舗和菓子メーカーの伝統を継承、地元との共生に貢献

141年間のれんを守り羊羹をブランド化、幾多の苦難を乗り越え品質へのこだわりで変わらぬ味を伝えている。江差町と森林に関する協定を締結して森づくり事業で地元貢献するとともに、地元での原料調達に向け地元生産者と連携して取り組みを行うなど、地元と共生する老舗企業として高く評価しました。

(北海道松山郡・代表取締役 小笠原 隆氏)

株式会社三興ネーム殿

特殊印刷の技術と新規事業で業績向上を実現

特殊印刷(スクリーン印刷)を得意とし、企業価値と啓発を徳として技術力を高め顧客に信頼される企業を目指して行動。品質と環境の認証取得のほか、技術開発では自社開発だけでなく他社との連携で成果をあげている。自治体などから優良企業として表彰されるなどチャレンジする企業として高く評価しました。

(神奈川県横浜市・代表取締役 武井克己氏)

株式会社三和鋳螺製作所殿

IT活用の技術革新で品質向上と顧客満足を実現

先を読む経営で、自動車産業の成長に目を向け特殊形状ねじの多品種生産に注力し、ITを取り入れた技術革新で高品質の生産体制で不良品を出さない検査システムを自社開発。同時に技術人材を経営資源と位置付けて技術者を計画的に教育するなど、高品質化で高い顧客満足度を獲得している経営を高く評価しました。

(大阪府東大阪市・代表取締役会長 榎本隆之氏)

株式会社マイスター60殿

シニア人材の派遣事業で高齢社会に貢献

「年齢は背番号、人生に定年なし」を旗印に4000名を超えるシニアを再雇用。ビル・設備関連企業を中心にシニア人材を送り出している人材派遣業。高齢社会先進国日本の課題解決の先駆者として、団塊世代のホワイトカラーの雇用創出や中小企業への人材派遣などで高齢化社会に貢献していることを高く評価しました。

(東京都品川区・取締役社長 柴田一郎氏)

京食品株式会社 / 株式会社臼杵養鶏場殿

事業連携で高齢社会への対応食品を開発

九州における卵焼きのトップメーカーと質の高い養鶏事業者の事業連携。超高齢化社会への進行に向けて、医療食・介護食の需要増加に着目、両社の強みを持ち寄り、栄養摂取しやすいソフト食の開発を目指している。事業連携のキッカケは日本経営士会が開催した農工商連携事業セミナー。事業連携への挑戦意義を高く評価し、今後の成果に期待します。

(福岡県福岡市・京食品 代表取締役高橋徳博氏)
(大分県臼杵市・臼杵養鶏場 代表取締役内田智之氏)

株式会社メジャーシステム殿

受変電設備事業のトータルサポートで躍進

電源確保の重要性が見直される中、「大型受変電設備工事・自主検査」「受変電設備の定期点検」「電気設備の定期点検」などの電気設備保守事業者として、設備設計・施工・検査・保守までの一貫事業に対応と、社内の研修施設で育てた若手技術者の技術力で急成長をとげている経営手法を高く評価します。

(埼玉県さいたま市・代表取締役 小松隆雄氏)

株式会社山内本店殿

老舗の醸造・発酵技術で市場を拡大、環境対策でも貢献

「現代の名工」(フードマイスター)を擁して味噌・醤油づくりに専念。たゆまぬ技術革新で良質で安全な味噌醸造に取り組み鑑評会では多くの賞を受章。機内食や有名デパートに採用されるなど各方面から評価を得ている。独自の排水浄化方法で環境保全にも配慮するなど、地元と共生する老舗企業として高く評価します。

(熊本県菊池郡・代表取締役社長 山内 卓氏)

株式会社コビテック殿

監視カメラの遠隔セキュリティー事業でワンストップサービスを構築

セキュリティー業界の慣例を超えて、それぞれの機能を一元化したワンストップサービスシステム(監視カメラによる遠隔セキュリティーネットワーク)の構築や、独居老人用の遠隔安否モニタリングシステムの開発等は、イノベーションに挑戦するベンチャー企業として評価します。

(東京都台東区・代表取締役社長 中川 治氏)

横浜商工株式会社殿

独自の人材育成方式で経営幹部を育成

独特な経営幹部育成方式「社長10名創出プロジェクト」を導入。「社長塾」と「外部セミナー参加」の2本立て方式で、次世代リーダー育成に力を注ぐとともに、修了者を関連会社等のトップに抜擢するなどして、修羅場を経験させる実践的人材育成への取り組みを高く評価します。

(神奈川県横浜市・代表取締役社長 河合昭彦氏)

株式会社ロボット工業殿

独自製品の開発で経営革新を実現

下請け企業からの脱却を宣言、役員の責任体制を明確にして革新経営に取り組み、独自商品開発に経営資源を集中。自治体の「経営革新認定」取得に挑戦するなど、独自の商品開発により経営スタイルの転換を実現するとともに地域の活動に貢献する企業として高く評価します。

(神奈川県愛甲郡・代表取締役 徳竹 茂氏)

— 努力賞 —

(10件)

有限会社アークマリン殿

外国人人材の活用で輸出事業を拡大

海外進出戦略として外国人活用に着目し、採用から戦力としての活用に向けて独自の友好関係を構築して、全従業員の約半分を外国人で構成するなど、企業の成長の原動力にしていることを評価します。

(神奈川県横浜市・代表取締役 陶山富之氏)

NPO法人エコアクション21 こうち殿

環境活動で地元企業を支援

「エコアクション21認証・登録概要説明会・実務研修会」、「事業者ができる温暖化防止活動の説明会」などで、行政と連携して地元企業を支援している活動を評価します。

(高知県高知市・会長 植木和宏氏)

大里総合管理株式会社殿

不動産業と社会貢献活動で地域社会に貢献

本業である不動産事業や生活関連支援事業を拡大させるとともに、クリーン活動、教育活動、文化・音楽活動など地域環境の整備活動に積極的にかかわり、地域社会に貢献していることを評価します。
(千葉県山武郡・代表取締役 野老真理子氏)

共栄産業株式会社殿

IT経営の導入で時計修理の効率化と業績改善を実現

時計修理の世界にITを導入、修理の進捗管理や在庫管理をシステム化して生産効率を2倍に高めた。同時に修理ステータスの見える化で顧客満足がアップし、業績を改善につなげたことを評価します。
(東京都豊島区・代表取締役社長 小林正博氏)

黒川八千恵殿

女性の視点で外国人研修制度に貢献

永年に亘り積極的に外国人研修制度に参画。企業に研修生・実習生の受け入れを促進するとともに、多くの研修生を面接から派遣までの活動に携わり、女性指導者ならではの観点から研修生を指導するなど、研修制度への積極的な取り組みを評価します。
(香川県高松市・黒川八千恵氏)

杉山ルミ殿

学校給食の安心と安全に貢献

学校給食の「安心と安全」を目指して、地産地消、安全な食材と食器の利用などの改善提案を通じ、食教育を地場産業と行政が支える街づくりに向けて「食のモデル」の確立に取り組んでいる活動を評価します。
(北海道夕張郡・杉山ルミ氏)

株式会社東予資源殿

リサイクル事業で品質管理を徹底

金属リサイクル業は処理（終わり）ではなく、製品づくりの始まりとの認識のもとで、高品質な選別加工を行い混入物のない製鋼原料を納入し、「安心と安全」で顧客ニーズに込んでいる取り組みを評価します。
(愛媛県西条市・代表取締役 志賀忠男氏)

NPO 法人マドレボニータ殿

産後の母親支援で社会に貢献

子育て導入期における最も不安定な母親の「心と身体」をサポートするため、「産後のボディケア&フィットネス教室」を全国展開するなど、産後の母親支援活動は少子高齢化社会における意義ある取組として評価します。
(東京都杉並区・理事長 吉岡マコ氏)

有限会社美鈴環境サービス殿

顧客の視点に立った隙間ビジネスでマーケット開拓

「駆除技術特化型」から「多品目対応型」へのシフトで新規顧客を開拓してきた。新たに日本経営士会のセミナーで学んだ環境経営を取り入れて事業領域の拡大に挑戦している。この成長に向けた取り組み姿勢を評価します。
(滋賀県大津市・代表取締役 鈴木健司氏)

株式会社ビー・エフ・シー殿

一括受注体制の構築で業績向上

厳しい企業間競争の中で、元請け事業者として総合請負ができる体制構築に取り組み、東京都から建築業の認可（内装仕上げ事業）を取得するなどして、自社での請負体制を確立して受注増につなげたことを評価します。
(東京都中央区・代表取締役 青木浩晃氏)